

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、道路事業をはじめとする公共事業のあり方について活発な論議がなされ、今年は、厳しい財政事情から社会資本整備の進捗が危惧される年となりそうです。しかし、地域の皆様の要請にこたえるため、様々な工夫を凝らして道路整備を進めていく所存です。

今年も西条維持出張所は国道2号・185号の安全な道路空間の維持管理を行うことを目標としています。

主要工事としては、2号の新幹線東広島駅入口交差点の立体による供用開始と、安芸バイパスの工事促進があります。また現道の維持補修と交差点改良を行います。

事業の実施にあたっては、地域への影響及び安全に配慮して進めてまいりますので、今後とも皆様のより一層のご支援、ご協力をお願いします。

◆工事トピックス

交差点の立体化

東広島市西条町下三永の東広島駅入口交差点では昨年12月19日より上り線と下り線を分離しました。工事が完成すれば現在の道路は東広島駅へ向かう接続道路となり、福山または広島に向かって直進される方は現在工事中の箇所を走行していただきます。

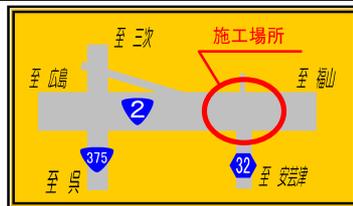


図-1 位置図



写真-1 交差点西側



写真-2 交差点東側



図-2 概略図

排水性舗装

志和インター入口交差点付近ではスリップ等による事故が発生していました。この度、対策として排水性舗装を施工し、事故の減少を期待しています。

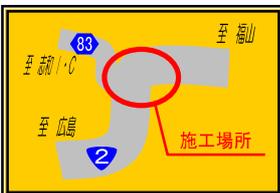


図-3 位置図



写真-3 施工場所

◆排水性舗装とは？

通常使用するアスファルト合材はアスファルトと大小様々な大きさの碎石を混合したものを使用します。排水性舗装ではその碎石は大きな粒だけを使用して舗装します。これにより舗装の中の隙間が多くなり雨水を舗装の中から排水できます。また排水性舗装はその隙間のおかげで騒音を低減させる効果もあります。



図-4 舗装模式図